

## 身近な消費手段となった E コマース

新型コロナウイルス感染拡大の防止策として、都市のロックダウン等の対策が取られる中、世界的に E コマースの重要性が増している。サウジアラビアにおいても、3月中旬から実施されたロックダウンの影響もあり、E コマースはより身近な消費手段となった。現地紙アラブニュースが伝えた、5月上旬に実施された Ernst & Young の調査によれば、サウジと UAE の消費者の 92% は、買い物の習慣が変わったと回答している。また、58% は商業施設へ行くことは“uncomfortable”であると回答しており、消費習慣の変化を読み取ることができる。

### サウジアラビアの E コマースの推進

情報通信技術委員会 (Communications & Information Technology Commission) が E コマースを推進。同委員会のレポート(2017年)によると、サウジ国民の 58% は、E コマースの利用経験有。一方、国外の E コマースサイトの利用が多いことが課題であり、サウジ国内の E コマースのみを利用した国民は僅か 7% に留まる。

## 課題であった配送も改善に向かう

サウジアラビアでは、2013 年より住所の整備が進められているものの、“通り”の名前が分かりづらく、番地が付与されていないことが宅配サービス、ひいては E コマースの発展を阻む要因となっていた。しかし、近年の衛星位置情報 (GPS) を使ったナビゲーション技術の発展と急速な普及、並びに小口配送サービスの拡充により、幅広い地域への配送が可能となっている。

6月16日には、情報通信技術委員会が、新たに小口配送サービス業 6 社にライセンスを付与し、ライセンス企業が合計 22 社になったことを発表した。また、企業参入手続きを効率化するオンラインポータル開設も合わせて発表しており、更なる配送サービスの向上が期待される。

## E コマースを後押しするキャッシュレス社会への転換

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、人との距離が比較的近いサウジアラビア人の生活スタイルを非接触型へと大きく変えることとなった。特に、キャッシュ信奉が強い人々の間にデジタルマネー (クレジットカードを含む) が普及し、キャッシュレス社会へ急速な転換がなされている。奇しくも、改革の目標に掲げるキャッシュレス比率の向上を後押しすることとなった。

E コマースの法整備についても着実に進展している。2019 年の E コマース法の発効に続き、2020 年 1 月には同法の施行規則が公表・発効された。消費者の個人情報の保護や、企業側の情報開示について明記されており、消費者が安心して E コマースを利用できる環境整備が進む。

配送能力の拡充、キャッシュレスの普及、法の整備と、市場環境は多方面で改善してきており、消費習慣の変化による需要拡大を追い風に、更なる市場の成長が期待される。(2020 年 6 月)

## お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Building, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: [infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp](mailto:infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp)

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>